

平成 22 年度 特例民法法人 岐阜県臨床検査技師会
第 2 回定期総会議事録

1. 開催日時

平成 23 年 03 月 06 日 (日) 14:00~16:40

2. 開催場所

大垣市民病院・管理棟 5 階・講堂

〒503-0803 大垣市南頬町 4 丁目 86 番地

TEL 0584-75-5715 0584-81-3341

3. 出席正会員数

530 名 (出席者 67 名、委任状 463 名)

4. 議 案

- (1) 第一号議案 平成 23 年度 事業計画について
- (2) 第二号議案 平成 23 年度 予算案について
- (3) 第三号議案 平成 22 年度 上半期事業報告について
- (4) 第四号議案 平成 22 年度 上半期決算報告・監査報告
- (5) 第五号議案 岐阜県臨床検査技師会法人化申請について

5. 進行

- 1) 開会の辞 永井 正信 副会長
- 2) 司会者 西村 孝 理事
- 3) 会長挨拶 北村 顕 会長
- 4) 議長の選出

議事に入る前に出席者に対して議長の選任について選出方法を募った。

会場内より執行部一任の声があり、司会者は議長として次の 2 名を指名した。

司会者に対する承認を求めた結果、満場一致の承認を得た。

議 長 高橋 昭彦 (西美濃厚生病院)

川島 直樹 (西美濃厚生病院)

5) 総会役員の選出

総会役員の選出方法について募ったところ、会場内より議長一任の声があり、議長は書記 2 名、資格審査委員 6 名、議事録署名人 2 名を指名して会員の承認を求めた。

その結果、満場一致の承認を得た。

総会役員は下記に示した。

書 記 奥田 文江 (大垣市民病院)

金山 好光 (関ヶ原病院)

資格審査委員

岐阜地区 金森 妙子 (岐北厚生病院)

横山 裕子 (岐阜市民病院)

西濃地区	横井 隆広 (株式会社メディック)
飛騨地区	梶屋 孝二 (高山赤十字病院)
中濃地区	宮内 隆昌 (八幡病院)
東濃地区	渡辺 徳子 (県立多治見病院)
議事録署名人	一柳 好江 (岐阜市民病院)
	多和田 嘉明 (東海中央病院)

6) 資格審査委員報告

資格審査委員の横井委員より総会出席者および委任状提出会員の資格審査報告がなされた。正会員数 690 名中、出席会員数 67 名、委任状提出会員数 463 名で合わせて 530 名で過半数以上となり本会・定款第 23 条により本総会が成立することが報告された。

これにより議長は総会の成立を宣言し、審議に入ることとした。

7) 議案審議

議案書に基づいて審議を行った。

第一号と第二号議案の審議は高橋議長、第三号、四号および五号議案は川島議長が担当された。

(1) 第一号議案

①平成 23 年度 事業方針

平成 23 年度事業方針を北村会長から説明された。

平成 22 年度は、節約を念頭に執行したが、平成 23 年度は会員皆様のための技師会活動を目指す。

1. 法人化申請は、本総会で一般社団移行決議を承認頂ければ、平成 24 年 3 月には一般社団法人移行手続きを行い、平成 24 年 06 月に一般社団法人総会を開催したい。
2. 学術部門では、医療の質への転換、日臨技の部門を鑑みながら各研究班主催の研修会・講習会を生涯教育の場として会員のために、一層の充実を図る。
平成 24 年度の第 51 回中部医学検査学会は、岐臨技担当で開催されることになっており、東濃地区を中心に開催準備をすすめていく。
3. 精度保障事業部精度管理調査は、平成 22 年度の実績を基に平成 23 年度もさらに充実したものにする。平成 22 年度から精度保障施設認証制度が開始され、現在岐阜県下 11 施設の申請があった。平成 23 年度はさらに多くの施設が申請していただくよう努力していく。
4. 渉外部門では、会員名簿、岐阜県臨床検査技師会誌、岐臨技会報を会員への情報提供の手段として取り組んでいく。資料館については、引き続き岐阜医療科学大学で検査機器の展示を行って運営する。
5. 技師会ホームページは、会員のみならず一般国民向けの広報を拡大するとともに、日臨技ホームページとのリンクをする。学術カレンダーを含めて会員の皆様にとって最新の情報となるよう常時更新し運営する。精度保証事業部専用ページを使い、フォトサーベイ CD、問題集、報告会、総括集を総合的に掲載する。また、平成 22

年度より携帯ホームページを設置した。メインページから研究班活動のリンクなど充実した携帯ホームページとする。携帯ホームページの URL は、岐臨技ホームページの QR コードから取得できる。

以上、主な事業について提案事由を提示された。

引き続き各担当部門から各事業計画の詳細が説明された。

②平成 23 年度 学術部事業計画

学術部事業計画について近藤学術部長から説明された。

1. 各種学会

- (1) 第 60 回日本医学検査学会：平成 23 年 06 月 4～5 日、東京国際フォーラム。
- (2) 第 50 回中部医学検査学会：平成 23 年 10 月 22～23 日、名古屋市国際会議場で開催。メインシンポジウム「女性技師活動の歩みと将来展望」を岐阜県が担当。
- (3) 第 50 回岐阜県臨床検査学会：平成 24 年 03 月に中濃地区担当で開催。

2. 総会・拡大研修会

- (1) 平成 23 年度第 1 回定期総会：平成 23 年 06 月 19 日（日）
- (2) 春季拡大研修会：平成 23 年 06 月 19 日（日）岐阜地区担当で開催（会場未定）。
内容は一般（加藤節子先生）・血液・輸血
- (3) 秋季拡大研修会：平成 23 年 11 月 20 日（日）飛騨地区担当で開催（飛騨世界文化センター）内容は病理・細胞診・微生物・免疫血清部門。
検査の今後のあり方
- (4) 平成 23 年度第 2 回定期総会：平成 24 年 03 月 11 日（日）

3. 部門別研究班研修会予定

- (1) 病理・細胞診研究班：5 回の開催を予定
 - ①06 月：症例検討会・組織勉強会（岐阜地区）
 - ②08 月：症例検討会・組織勉強会（中濃地区）
 - ③10 月：症例検討会・組織勉強会（東濃地区）
 - ④12 月：メーカー協賛講習会・外部講師講演会（西濃地区）
 - ⑤03 月：精度管理報告会
- (2) 微生物検査研究班：5 回の開催を予定（開催月日未定）
- (3) 生理検査研究班：6 回の開催を予定。
 - ①平成 23 年 05 月 14 日（土）腹部超音波実技講習会（初心者）
 - ②平成 23 年 06 月 11 日（土）心電図・心臓超音波 パート 1
 - ③平成 23 年 07 月 09 日（土）腹部超音波
 - ④平成 23 年 09 月 10 日（土）心電図・心臓超音波 パート 2
 - ⑤平成 23 年 10 月 08 日（土）呼吸生理
 - ⑥平成 23 年 11 月 12 日（土）神経生理
- (4) 一般検査研究班：3 回の開催を予定。
 - ①平成 23 年 08 月：便トランスフェリン（岐阜赤十字病院）
 - ②平成 23 年 10 月：一般認定試験に向けての講習会（岐阜大学）

- ③平成 23 年秋 : 顕微鏡の取り扱い (会場は未定)
- (5) 臨床化学・免疫血清検査研究班 : 4 回の開催を予定。
 - ①平成 23 年 05 月 21 日 (土) 分析装置の基礎・免疫反応の基礎
 - ②平成 23 年 08 月 20 日 (土) 浄水装置について・NST 関連 輸液について
 - ③平成 23 年 11 月 19 日 (土) 血中薬物濃度・高濃度 CRP
 - ④平成 24 年 02 月 18 日 (土) 精度管理報告会
- (6) 血液検査研究班 : 5 回の開催を予定。
 - ①平成 23 年 05 月 : 初心者向け 末梢血液像・顕微鏡の取り扱い (岐阜大学)
 - ②平成 23 年 07 月 : 血液検査認定技師研修会 (岐阜地区)
 - ③平成 23 年 08 月 : 症例解説 (土岐市民病院)
 - ④平成 23 年 11 月 : 凝固検査 (会場未定)
 - ⑤平成 24 年 01 月 : 精度管理報告会 (岐阜市民病院)
- (7) 輸血検査研究班 : 7 回の開催を予定。
 - ①平成 23 年 05 月～06 月 : ①～④回 (飛騨・東濃・西濃・中濃の 4 地区)
 - ⑤平成 23 年 10 月 : 輸血検査のケーススタディ (岐阜地区)
 - ⑥平成 23 年 12 月 : 血液センター話題提供・岐臨技精度管理報告会
(岐阜赤十字血液センター)
 - ⑦平成 24 年 03 月 : 他県の輸血業務の状況について・症例報告 (岐阜地区)
小規模基礎実技講習会
認定輸血検査技師による出張実技講習会
- (8) 情報システム研究班 : 1 回の開催を予定。
 - ①平成 23 年 07 月 : ホームページ活用・e ラーニング
- (9) 精度保障事業部報告会 : 期日、会場未定。

4. 日臨技委託事業

- (1) 中部地区・一般検査研修会
平成 24 年 02 : 髄液・腹胸水の実習 (岐阜大学)
- (2) 中部地区・輸血検査実技講習会
平成 23 年 07 月 2 ～3 日 : 輸血検査の標準化 (金沢大学)
- (3) 東海 3 県生理検査研究班合同研修会
平成 23 年 05 月 : 呼吸機能

5. 市民健康まつり

- ①やさか福祉健康まつり : 中津川坂下総合体育館 (期日未定)
- ②中津川健康福祉まつり : 東美濃ふれあいセンター (期日未定)
- ③高山市民健康まつり : 高山市保健センター (期日未定)
- ④大垣市市民の健康ひろば : 大垣城ホール (期日未定)
- ⑤岐阜市民健康まつり : 岐阜市文化センター (10 月 16 日)

6. 関連研修会・講習会

- (1) 平成 23 年度成人病検診 (細胞診従事者) 指導講習会 (4 回実施予定)

- ①第1回細胞診技術者研修・養成講習会（平成23年07月）
- ②第2回細胞診技術者研修・養成講習会（平成23年09月）
- ③第3回細胞診技術者研修・養成講習会（平成23年12月）
- ④第4回細胞診技術者研修・養成講習会（平成24年01月）

7. 啓発活動

- (1) 乳がん予防啓発活動（期日、会場未定）
- (2) HIV予防啓発活動（期日、会場未定）

8. その他

- (1) 岐阜県病院協会医学会
平成23年10月09日（日）長良川国際会議場
学会長：山内英通（山内ホスピタル）

9. 論文推薦について

- (1) 「日本医学検査」推薦論文
毎年10月末日までに岐臨技事務へ提出。
- (2) 「岐阜県臨床検査技師会誌」推薦論文
毎年1月末日までに岐臨技事務へ提出。

10. 学術誌発行

平成23年03月発行予定（毎年3月） 予定6～10論文

③平成23年度 精度保障部事業計画

精度保障部事業計画について田中精度保障部長から説明された。
年間スケジュールとして下記のように実施していく。

- 平成23年04月 平成23年度全体会議
- 05月 標準化・精度管理の案内文発送、参加申し込みの締め切り
 - 06月 参加申し込み施設集計の確認作業
プール血清の値付け（濃度調整）、第1回標準化の試料発送
 - 07月 標準化結果締め切り、標準化結果速報
（認証委員会）岐阜県施設認定の受付開始
 - 09月 フォトサーベイ研究班の原稿締め切り
精度管理の試料と資料の準備
 - 10月 第2回標準化・精度管理の試料発送
第2回標準化・精度管理の結果締め切り
 - 11月 （認証委員会）施設認定の審査と会議
 - 12月 第2回標準化・精度管理の評価確認会議
岐阜県認定申請の締め切り、岐阜県認定審査の会議
標準化・精度管理の結果速報
- 平成24年01月 精度保障部お事業報告会
- 02月 事業報告本の原稿締め切り

④平成23年度 組織調査部事業計画

組織調査部事業計画について臼井組織調査部長から説明された。

1. 啓発および保健衛生事業については

(1) 乳がん予防啓発の事業を行う。

具体的には、講演会・ティッシュ配布等を行う（日程は未定）

(2) HIV・STI予防の事業を行う。

具体的には、講演会・ティッシュ配布等を行う（日程は未定）

いずれも地域の健康祭りや講演会と共同開催を検討している。

その他、他の医療団体と共同で行う県・市民向けのイベントに積極的に参加して、保健衛生の啓発に努める。

2. 日臨技の新法人への移行後に、会員・非会員へのアンケート第2弾の実施を行う。

⑤平成23年度 広報宣伝部事業計画

広報宣伝部事業計画について山本広報宣伝部長から説明された。

岐臨技会報を年5回の編集・発行を計画している。

具体的には下記の通りに実施していく。

1. 毎月の岐臨技発送定期便に1施設当たり一部（白黒）を配布、ホームページにPDF形式（カラー）にて掲載する。

2. 岐臨技会報の体裁は、A4判原稿4ページ（カラー）を基本として構成する。

3. 岐臨技会報の印刷は、白黒印刷でA3判両面2ページにまとめて印刷する。

4. 岐臨技会報のHPは、A4判（カラー）構成で4ページを基本としてPDFファイルとして掲載する。

5. 会報の原稿に対して、謝礼として500円分の図書カードを贈呈する。

⑥平成23年度 庶務部事業計画

庶務部事業計画について西村理事から説明された。

平成23年度においても、事務所の専任事務員とともに庶務業務を行っていく。

具体的な内容の説明が下記のようなされた。

1. 各研修会案内の発送（原則毎月20日）。

2. 各委員会の案内および委任状の送付（主に電子メールで運用）。

3. 理事会および常任理事会会議予定の管理（会議資料の準備、弁当の手配）。

4. 会員・日臨技・各種団体からの問い合わせ対応（事務員が対応するが、対応は平日の10時から15時まで）。必要に応じて会長、各理事に通知する。

5. 日臨技・各種団体からの文書管理

6. 施設会員・自宅会員・賛助会員名簿の作成。

7. 日臨技の口座振替による岐臨技会費の管理（入金管理）。

8. 各委員会における委員の旅費、日当の支給準備（会計部と連携して実施）。

⑦平成 23 年度 法人対応事業部計画

法人対応事業部計画について鈴木部長から説明された。

現在の特例民法法人から平成 25 年 11 月が期限となる法人への移行への準備を進めていく。具体的なスケジュールは下記のように行う。

1. 定款変更の案を作成（4月）
2. 県医療整備課への法人移行に関する相談会への申し込み（5月以降の開催で）
3. 電子申請の申込み登録
4. ホームページ上にて、必要な書類等の確認・仮入力
5. 定款変更の案の完成
6. 平成 23 年度第 2 回定期総会にて、定款変更案の承認
7. 平成 24 年度第 1 回定期総会にて、平成 23 年度の決算の承認（6月）
8. 県へ書類を揃えて、法人として申請（平成 24 年 7 月以降）
9. 認可が下りれば、登記後、臨時総会（法人としての第 1 回総会）を開催

(2) 第二号議案 平成 23 年度予算案

平成 23 年度予算案について兼子会計部長から議案書 13 ページの収支予算内訳表にもついて説明がなされた。

- ・事業別の予算内訳書を作成した。縦に経常利益と経常費用（事業費と管理費）を示している。管理費は理事会・総会の費用など当会の運営上の費用で、他は事業費となる。実施事業等会計は公益目的事業で、県学会と春季・秋季拡大研修会に相当する。公益目的事業以外はその他会計とした。法人会計は管理費をまとめたものになる。
- ・前年度予算額は事業別の予算にしていたので、昨年 6 月の議案書とは違ったところがある。今度の「会議費」は、前年度別々に予算立てした会誌編集会議費・精度管理会議費・班長会議費などを通算した額になっている。
- ・平成 23 年度予算案の特徴は、
 - ①部門別研究班の活動費を拡充し、会員講師や班長副班長会議の日当・交通費・外部講師招聘の予算を計上した。
 - ②春季・秋季拡大研修会収入と経費を計上した。
 - ③会員名簿製本費を計上した。
 - ④健康イベントの予算を計上し、助成金を無くした。
- ・経常収益計は 10,301,000 円、経常費用計は 9,415,400 円となり、当期経常増減額は 885,600 円となっている。
- ・前年度予算との差額について
 - ①事業費の支払負担金は、日臨技会費の入金が無くなるため大幅減額になっている。
 - ②事業費の増加は拡大研修会収入によるもの。
 - ③日臨技からの補助金・負担金が無くなる。

- ④事業費の給料手当の増加は、事務員の作業増加によるもの。
- ⑤事業費の旅費交通費の増加は、部門別研究班・拡大研修会・健康イベント会議の増加による。
- ⑥事業費の消耗品費の減少は、主に精度管理試料代の減少による。
- ⑦事業費の印刷製本費の増加は、会員名簿印刷費の計上による。
- ⑧事業費の諸謝礼金の増加は、部門別研究班と春季・秋季拡大研修会の外部講師料の計上による。
- ⑨事業費の支払助成金の減少は、健康イベント分の減少による。
- ⑩事業費の予備費は、今年度あまり使用されなかったため減額した。

以上の第一号および第二号議案について、議長は審議を求めた。

その結果、会員から下記の意見が出され、それについて会長および担当理事が答弁を行った。

・竹村会員より（岐阜大学病院）

1. 検査技師会は職能団体であり、一般社会に認知される普及活動を日臨技会長に提案したが、どのような活動を行っているか知りたい。
2. 現状では、学術団体の意味合いが無いので、検査技師会へ演題を出しても、魅力がない。
3. 技師会組織は日臨技の1つとして、日臨技から各県に運用資金を出す提言をしたいが、その可能性はあるか。こうすれば、各県が赤字決算になるリスクは無くなると思う。
4. 総会委任状は、各施設長が提出させる、させないと会員に半ば強制的に行っているように思われる。これでは会員個人の意見が反映できないと思うがどうか。

（会長答弁）

1. 技師会組織は現状では1つに出来なく、日臨技と各県技師会がある。会員は日臨技と県技師会の両方に入る事が必須になっている。しかし、2年後には、会員の選択で日臨技会員のみ、県技師会会員のみになれる案も検討されている。
2. 公益団体でなく、職能団体ではあるが、岐阜県技師会としては、学術にも活動の柱の一つとして行きたい。査読委員会を先ごろ設けており、学術誌を充実させていく。
3. 日臨技の活動の一環として、一般の新聞に臨床検査技師の活動を掲載して国民にアピールを行っている。
4. 委任状を出さない、委任状を出すは何も書かないのが会員の意思表示といたくない。何らかの意見を言ってほしい。

・深津会員より（県立多治見病院）

1. 公益法人と一般法人はどのように違うのか。また、税金の違いはあるのか。教えてほしい。

（会長答弁）

公益法人と一般法人の大きな違いは、公益事業を活動費の50%以上費やすことが必要なのが公益法人となっている。

税金については、牛丸監事より説明があり、一般法人では固定資産税が異なっているが、市民税、県民税は変わらない。

2. 23年度の予算内訳で岐阜県にて開催する24年度中部学会（東濃地区担当）の運営の予算が付いていない。準備活動を行いたいが、請求先を教えてほしい。立て替えて準備した場合の請求先を教えてほしい。

北村会長

23年度には学会準備費を予算化していない。24年度に日臨技から直接送金される。

中部学会は県と別会計になっている。学会準備費用は地区活動費か予備費からの捻出を考えている。学会準備活動は、理事会と合同で行って行きたい。

第一号および第二号議案の審議に続いて、議長はこの議案の採決を求めた。

その結果、賛成多数が得られ、第一および第二号議案は原案どおり可決成立した。

次の審議から川島議長に交代となった。

(3) 第三号議案：平成22年度上半期事業報告

①平成22年度上半期 学術部事業報告

平成22年度上半期の学術部事業について近藤学術部長から報告がなされた。

1. 各種学会

(1) 第59回日本医学検査学会：平成22年5月22～23日、神戸国際会議場・神戸国際展示場。本県から一般演題座長4名（情報システム・微生物・生理・臨床化学）推薦した。演題は岐阜県から8演題提出があった。

(2) 第49回中部医学検査学会：平成22年9月18～19日、石川県金沢市で開催されたメインシンポジウム「検査部における技師教育と評価システム」を岐阜県が担当した。参加者は1307名であった。

(3) 第49回岐阜県臨床検査学会：平成23年3月6日に西濃地区担当で大垣市民病院にて開催した。

特別講演として「魅力ある女性技師とは」講師：牧野栄美子先生（福井社会保険病院）。一般演題は11題の報告があった。

2. 総会・拡大研修会

(1) 平成22年度第1回定期総会：平成22年6月6日（日）10：00-12：00

平成22・23年度役員選出・平成21年度事業報告・平成21年度決算・監査報告を行った。参加者は29名。

(2) 春季拡大研修会：中止。

(3) 秋季拡大研修会：中止。

(4) 平成22年度第2回定期総会：平成23年3月6日（日）14:00-16:30

大垣市民病院で開催した。平成22年度事業中間報告・中間会計報告
平成23年度事業計画・予算案

3. 部門別研究班研修会

44回研修会（昨年度33回）を開催し、のべ参加者は831名（昨年度654名）であった。

（1）病理・細胞診研究班

- ①第1回合同研修会：平成22年06月05日（土）14：00－17：00 久美愛厚生病院
内容：第339回細胞診症例検討会、第24回病理組織検討会、参加者：11名
- ②第2回合同研修会：平成22年08月08日（土）14：00－17：00 東海細胞研研究所
内容：第340回細胞診症例検討会、第25回病理組織検討会、参加者：20名
- ③第3回合同研修会：平成22年10月09日（土）14：00－17：00 岐阜社会保険病院
内容：第341回細胞診症例検討会、第26回病理組織検討会、参加者：10名
- ④第4回合同研修会：平成22年12月19日（土）15：00－18：00 東海細胞研研究所
内容：第342回細胞診症例検討会、第27回病理組織検討会、参加者：34名

（2）微生物検査研究班

- ①第1回研修会：平成22年06月12日 岐阜大学病院
内容：岐阜県下の嫌気性菌検査の状況 他1題、参加者：19名
- ②第2回研修会：平成22年07月24日 岐阜市民病院
内容：腹膜透析療法の原理と関連する感染症について 他1題、参加者：18名
- ③第3回研修会：平成22年08月07日 岐阜市民病院
内容：最近話題の細菌トップ10プラスα 他1題、参加者：29名
- ④第4回研修会：平成22年10月30日 岐阜市民病院
内容：潜在性真菌症の最近の話題と抗真菌剤の特性 他1題、参加者：18名
- ⑤第5回研修会：平成22年12月11日 岐阜医療科学大学
内容：培地の基礎と技術的応用範囲の生理、参加者：29名
- ⑥第6回研修会：平成23年02月05日 岐阜市民病院
内容：迅速有意義な情報提供 グラム染色 他1題、参加者： 名

（3）生理検査研究班

- ①第1回研修会：平成22年06月12日 岐阜県総合医療センター
内容：平成21年度岐臨技生理検査フォトサーベイ 他1題、参加者：19名
- ②第2回研修会：平成22年10月02日 東海中央病院
内容：日本臨床検査医学認定2級臨床検査士（循環生理） 他5題、参加者：36名
- ③第3回研修会：平成22年10月30日 岐阜県総合医療センター
内容：頸動脈超音波 他2題、参加者：20名
- ④第4回研修会：平成22年11月28日 岐阜県総合医療センター
内容：成人でも遭遇する先天性心疾患 他1題、参加者：35名
- ⑤第5回研修会：平成22年12月04日 東海中央病院
内容：平成21年度岐臨技生理検査フォトサーベイ 他2題、参加者：36名
- ⑥第6回研修会：平成23年02月05日 東海中央病院
内容：平成22年度岐臨技生理検査フォトサーベイ 、参加者： 名

（4）一般検査研究班

- ①第1回研修会：平成22年06月20日 ハートフルスクエア G
内容：認定一般検査技師対応講座 他5題、参加者：30名
- ②第2回研修会：平成22年07月25日 岐阜大学医学部
内容：初心者・初級者向け尿沈渣実習 他2題、参加者：34名
- ③第3回研修会：平成22年11月27日 澤田病院
内容：一般検査・岐臨技精度管理、参加者：9名
- ④第4回研修会：平成23年01月15日 土岐市立総合病院
内容：一般検査・岐臨技精度管理、参加者：10名
- (5) 臨床化学・免疫血清検査研究班
- ①第1回研修会：平成22年06月12日 岐阜中央病院
内容：異常データ出現時の確認事項と対応ポイント 他1題、参加者：35名
- ②第2回研修会：平成22年11月06日 岐阜中央病院
内容：敗血症におけるプロカルシトニンの有効性 他1題、参加者：22名
- (6) 血液検査研究班
- ①第1回研修会：平成22年04月24日 岐阜市民病院
内容：良く解る凝固線溶の基礎と凝固検体の取り扱い 他1題、参加者：21名
- ②第2回研修会：平成22年06月27日 岐阜大学
内容：血液像・骨髓像の基礎 他4題、参加者：39名
- ③第3回研修会：平成22年09月12日 岐阜市民病院
内容：血液検査認定技師模擬試験、参加者：7名
- ④第4回研修会：平成23年10月24日 高山赤十字病院
内容：ヘパリン起因性血小板減少症 他2題、参加者：3名
- ⑤第5回研修会：平成23年01月22日 岐阜市民病院
内容：岐臨技精度管理・症例報告
- (7) 輸血検査研究班
- ①第1回研修会：平成22年05月15日 市立恵那病院
内容：輸血検査の基礎知識、参加者：20名
- ②第2回研修会：平成22年06月19日 久美愛病院
内容：輸血検査の基礎知識 他1題、参加者：27名
- ③第3回研修会：平成22年07月10日 博愛会病院
内容：輸血検査の基礎知識、参加者：16名
- ④第4回研修会：平成22年07月10日 岐阜社会保険病院
内容：輸血検査に必要な基礎知識、参加者：23名
- ⑤第5回研修会：平成22年11月06日 県立多治見病院
内容：輸血検査のケーススタディ第2弾、参加者：18名
- ⑥第6回研修会：平成22年11月28日 岐阜市民病院
内容：血液センターの技術協力と最近の話題 他1題、参加者：14名

(8) 情報システム研究班

①第1回研修会：平成22年05月08日 岐阜中央病院

内容：診療報酬改定 概要 今後の検査室の対応、参加者：10名

(9) 免疫血清・生化学検査研究班合同研修会

①第1回研修会：平成22年11月06日 岐阜中央病院

内容：敗血症におけるプロカルシトニンの有効性、参加者：10名

(10) 精度保障事業部

平成23年01月30日 岐阜赤十字病院

内容：岐臨技精度管理調査報告会

4. 日臨技委託事業

(1) 中部地区・免疫血清検査研修会

平成23年02月27日 大垣市民病院

内容：肝炎発症のメカニズムとその免疫応答 他6講演

5. 市民健康まつり

①やさか福祉健康まつり：坂下総合体育館（平成22年05月30日）

②中津川健康福祉まつり：東美濃ふれあいセンター（平成22年09月12日）

③高山市民健康まつり：高山市保健センター（平成22年10月03日）

④大垣市市民の健康ひろば：大垣城ホール（平成22年10月17日）

⑤岐阜市民健康まつり：岐阜市文化センター（平成22年10月17日）

7. 啓発活動

(1) 乳がん予防啓発活動（平成22年09月12日、アクアウオーク大垣）

(2) HIV予防啓発活動（平成22年12月12日、各務原イオンショッピングセンター）

8. その他

(1) 第60回全国病院協会医学会

日時：平成22年07月22/23日 会場：長良川国際会議場

学会長：山田實紘（木澤記念病院）

②平成22年度上半期 精度保障部事業報告

精度保障部事業について田中精度保障部長から報告された。

平成22年4月から9月までの上半期事業報告と平成22年10月から平成23年3月までの事業計画説明が下記のようにあった。

(1) 上半期事業報告

平成22年4月25日 平成22年度全体会議

平成22年5月20日 標準化・精度管理 案内文発送

平成22年5月29日 参加申し込み 締め切り

平成22年6月04日 参加申し込み 施設集計 確認作業

平成22年6月19日 プール血清 値付け（濃度調整）

平成22年6月27日 第1回 標準化 試料発送

平成22年7月03日 標準化 結果締切

平成 22 年 7 月 20 日 標準化 結果速報
平成 22 年 9 月 01 日 Photo Survey 研究班 原稿締切
平成 22 年 9 月 25 日 精度管理 容器 ラベル No. 資料 の準備

(2) 事業計画

平成 22 年 10 月 03 日 第 2 回標準化・精度管理 試料発送
平成 22 年 10 月 15 日 第 2 回標準化・精度管理 結果締切
平成 22 年 11 月 07 日 認証委員会 標準化基幹施設 認定審査 会議
平成 22 年 12 月 05 日 第 2 回標準化・精度管理 評価 確認会議
平成 22 年 12 月 12 日 認証委員会 岐阜県認定申請締め切り
平成 22 年 12 月 20 日 標準化・精度管理 結果速報
平成 23 年 01 月 09 日 認証委員会 岐阜県認定申請 会議

※申請資料をまとめて日臨技へ送付した。

平成 23 年 01 月 30 日 精度保障事業部 事業報告会

平成 23 年 02 月 18 日 事業報告本 原稿締切

平成 23 年 03 月 18 日 事業報告本 発送

施設認証制度について、申請合格の通知を日臨技から受けて、岐阜県では 11 施設が認定された。

③平成 22 年度上半期 組織調査部事業報告

平成 22 年度上半期の組織調査部事業活動内容について白井組織調査部長から報告された。

平成 22 年 07 月 09 日 岐臨技役員選挙規定 (案) 作成

平成 22 年 07 月 23 日 乳がん予防啓発事業 開催場所予定予約 (アクアウォーク大垣)

平成 22 年 07 月 28 日 乳がん予防啓発事業 企画書作成 提出

平成 22 年 08 月 03 日 乳がん予防啓発事業 理事参加協力依頼

平成 22 年 08 月 17 日 乳がん予防啓発事業 会員参加協力依頼書発送依頼

平成 22 年 09 月 12 日 乳がん予防啓発事業 関連グッズ配布 (会員 23 名参加)

平成 22 年 10 月 07 日 HIV・STI 予防啓発事業 グッズ申込み

平成 22 年 10 月 12 日 HIV・STI 予防啓発事業 講演依頼 (岐阜大学病院 鶴見広美先生)
技師 29 名、一般 7 名の参加があった。

平成 22 年 10 月 12 日 HIV・STI 予防啓発事業 企画書作成 提出

平成 22 年 12 月 12 日 HIV・STI 予防啓発事業 岐阜市民病院 各務原イオンで行う。

平成 23 年 01~03 月 技師会未加入者の実態調査を行う。

④平成 22 年度上半期 広報宣伝部事業報告

平成 22 年度上半期の広報宣伝部事業について山本広報宣伝部長から報告された。

会報を 4 回発行した。今年の 3 月に第 17 号を発行予定である。

(1) 岐臨技会報第 13 号 平成 22 年 06 月 01 日発行

平成 22 年度を迎えて

公益事業コーナー

市民公開講座 (平成 21 年度秋季研修会)

思い出の一時を楽しむ（岐阜県臨床検査技師会創立 60 周年を控え）

施設紹介（岐阜赤十字病院 検査部）

（2）岐臨技会報第 14 号 平成 22 年 09 月 01 日発行

平成 22 年度第 1 回定期総会を終えて

岐臨技血液検査研究班研修会（06 月 27 日：岐阜大学付属病院）

第 4 回輸血検査研究班研修会（07 月 10 日：岐阜社会保険病院）

施設紹介（財）岐阜県産業保健センター検査部

新入会のお知らせ

新入会者から技師会への要望・意見

（3）岐臨技会報第 15 号 平成 22 年 11 月 01 日発行

第 49 回中部医学検査学会終了（発表・座長・司会・コメンテーターをされた方々）

第 49 回中部医学検査学会に参加して

愛知・岐阜・三重合同生理検査研修会を終えて

公益事業コーナー（乳がん予防啓発運動に参加して

岐阜城、JR 岐阜駅北口駅前広場ブルーライトアップ事業に協賛（世界糖尿病デー）

子宮がん（HPV）予防ワクチン接種全額公費情勢署名活動協力のお礼（県 5590 人）

施設紹介（地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院検査部）

新入会者の紹介コーナー

（4）岐臨技会報第 16 号 平成 23 年 01 月 01 日発行

新年を迎えて

第 2 回生理検査研修班研修会（10 月 14 日：東海中央病院）

第 3 回生理検査研修班研修会（10 月 30 日：岐阜県総合医療センター）

第 5 回生理検査研修班研修会（12 月 04 日：東海中央病院）

病理細胞合同検査研究班研修会（10 月 09 日：岐阜社会病院）

公益事業コーナー（HIV 予防啓発事業の参加報告）

高山市民健康まつりに参加して

施設紹介（岐阜社会保険病院検査部）

新入会者の紹介

（5）岐臨技会報第 17 号 平成 23 年 03 月 01 日発行予定

14 号（09 月）から配布部数を 1 施設 1 部に変更して、毎月の定期便に同封して発送。

⑤平成 22 年度上半期 庶務部事業報告

平成 22 年度上半期の庶務部事業内容について西村理事から報告された。

事務所扱い事項の報告がなされ、毎月 20 日前後に研修会等主な案内の発送が行われている。

事務所は会議、研修会等にも使用されており、平成 22 年度上半期（4 月から 9 月）の使用状況の報告があり、月に 3 回程が会議等に利用されていた。

⑥平成 22 年度 法人対応事業部報告

平成 22 年度上半期の法人対応事業部活動について鈴木部長から報告された。

公益法人化を行う為の知識習得のために、公益セミナーへ下記のように参加した。

- (1) 06月17日：09:30～11:30 参加者：鈴木
- (2) 07月07日：09:30～12:30 参加者：鈴木
- (3) 08月19日：13:15～16:45 参加者：兼子、鈴木
- (4) 10月 平成20年度会計基準に関するセミナー 参加者：兼子会計部長（名古屋）
- (5) 11月 公益法人セミナー 参加者：鈴木（名古屋）

(4) 第四号議案：平成22年度上半期決算報告・監査報告

平成22年度上半期決算報告について、兼子会計部長から報告があり、引き続き牛丸、山本両監事から監査報告がなされた。

① 平成22年度上半期決算報告

平成22年04月01日から平成09月30日までの中間決算報告の説明が行われた。

1. 収支計算書

予算額（1年分）に対し、中間決算額は半年分で集計されている。

経常収益合計は9,145,777円、経常費用合計は6,189,747円であり、当期収支差額は2,956,030円となっている。

2. 貸借対照表

現金預金は5,988,175円であるが、残高証明の金額は5,988,163円であり12円少なくなっている。これは別の通帳に利息としてあったのを見逃した為と説明があった。

資産合計は15,147,749円、負債合計は7,388,000円であり、正味財産合計は7,759,749円となっている。

② 監査報告

平成22年度中間会計期間（平成22年04月01日から09月30日）の業務及び財産の状況についての監査報告が行われた。

（監査方法の概要）理事会に出席するほか、理事からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書を閲覧し、業務及び財産の状況を調査した。また、事業報告並びに会計帳簿の調査を行い、計算書類の監査を実施した。

（監査結果）

1. 事業報告は、一部で未着手及び未達の事業を指摘した。指摘事項に関しては改善の方向で取り組んでもらい年度末には完了する事になっている。したがって事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めた。
2. 理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認めなかった。
3. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類と記録が合致しているものと認めた。
4. 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めた。

議長は第三および第四号議案の審議を求めた。

・竹村会員より（岐阜大学病院）

1. 岐阜県会員 700 余名であるが、研修会の参加がのべ 831 名で報告されている。参加会員にはリピーター（複数回参加者）がいるので、それを除いた本来の参加会員数を教えてほしい。研修会の現状を教えてほしい。
2. 中部学会運営は東濃地区のみでなく岐阜県技師会が行うものであるので、会長が日臨技に行き、運営予算を請求してほしい。
3. 各施設の精度保障の認証について、岐阜大学病院では CAP という世界的に有名な精度保障の施設認証を受けているので、検査技師会の認証を受けるのをやめた。

（答弁）

近藤学術部長

各地区で開催しているが、岐阜地区の開催が多くて、リピーターも多い。各研究班が基本的なことを企画し、新人がその研修会に参加して勉強されているケースも増えている。常連会員の方が、若手を誘って参加されるよう啓蒙して行きたい。

田中精度保障事業部長

技師会の認証制度について説明がなされた。日臨技の精度保障全国会議で趣旨説明がなされている。過去 3 年間の標準化事業により、全国の施設間検査データの互換性が高まった。今後も検査データの信頼性を維持管理するため 当会主催の外部精度管理調査およびデータ標準化事業に参加し、信頼性が十分保障されると評価できる施設に対し、精度保障認証施設として認定する制度。

・深津会員より（県立多治見病院）

残高証明金額と議案書の預金現金額が 12 円異なる理由説明と問題がないか聞きたい。

兼子会計部長

岐臨技の通帳には①引き落とし用②会費用③精度管理用の 3 つがあり、精度管理用の通帳に思わぬ利息（9 月 30 日には確認できなかった）が付いていた。牛丸監査委員（公認会計士）からは、会計の残高は合っており、なんら問題はないと言われた。

・ 会員より

新人教育を 4 月か 5 月に行ってほしい。

永井副会長が答弁され、平成 22 年度は新人が 44 名入っているので、新人教育はしっかりやって行きたいと答弁された。

続いて、議長は第三および第四号議案の決議を求め、拍手による採決に入った。

結果、賛成多数が得られ、第三および第四号議案は原案どおり可決成立した。

（5）第五号議案 岐阜県臨床検査技師会法人化申請について

北村会長から岐阜県臨床検査技師会法人化申請についての概要説明があり、続いて鈴木法人対応事業部長からスライドを用いて詳細な説明がなされた。

公益法人制度改革による法律の施行（H20.12.1）以来 2 年 3 か月が経過した。これに伴い岐臨技は「特例民法法人」となり、法律に施行から 5 年間を移行期間とし、公益社団法人

への移行認定を申請することになる。今回の法改正では、岐臨技が取得している公益法人は「公益社団法人・一般社団法人・法人申請しない」の3つの選択肢になる。公益法人への選択では、特定の者の地位向上よりも不特定多数の者の利益を優先することになり、岐臨技が職能団体として特定の者の「地位向上に取り込む」のであれば「公益法人」の選択肢はなくなる。このような理由で、岐阜県臨床検査技師会は、一般社団法人を申請すると説明され、本総会での承認を求められた。

この説明内容について、議長は第五号議案の審議を求めた。

その結果、会員から下記の意見が出された。

・竹村会員より（岐阜大学病院）

技師会会員には、各行事の交通手当等は出されていますか。

理事と一般会員は同じ立場で議論が必要と思う。

北村会長

会議、打ち合わせ等に支給をしているが、全てには出していない。

理事の会議等手当は、施設および技師会からのどちらか一方の支給にしており、2重にはなっていない。


つづいて、議長は第五号議案の決議を求め、拍手による採決に入った。


結果、賛成多数が得られ、第五号議案は原案どおり可決成立した。

これにより、平成22年度第2回定期総会での議案審議が終了し、議長は本総会の役員を解任した。

8) 閉会の辞 石郷 副会長

以 上

議 長 高橋 昭彦 

議 長 川島直樹 

議事録署名人 一柳 好江 

議事録署名人 多和田 嘉明 